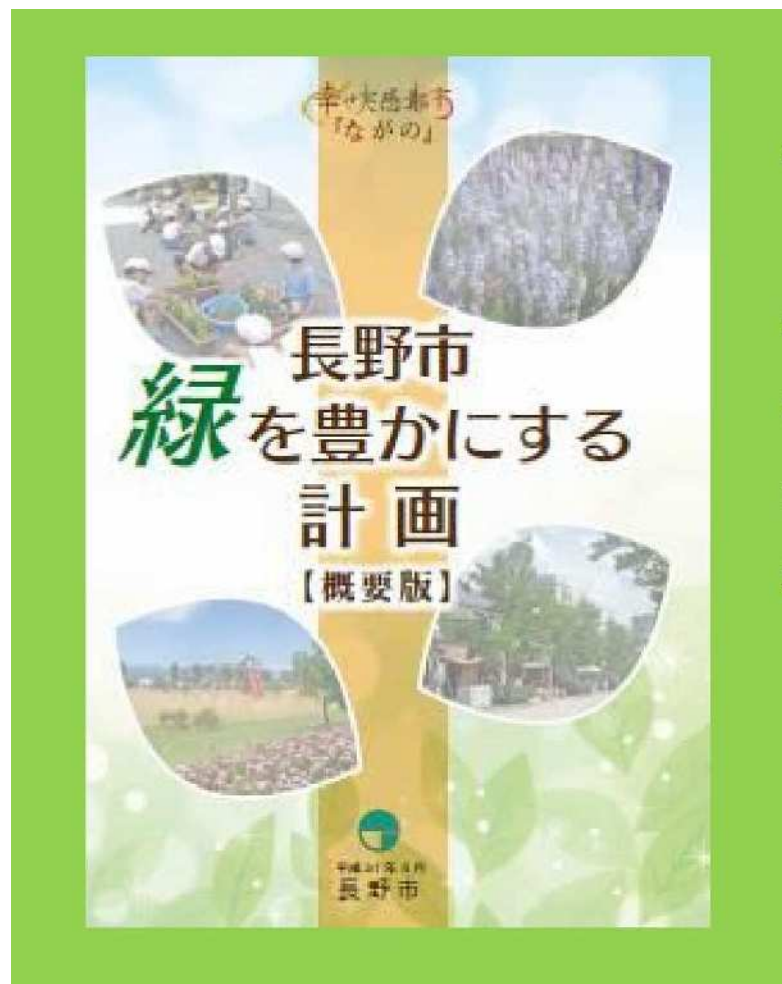




都市緑地法に基づき「緑地の保全及び緑地の推進に関する基本計画」として平成31年4月に策定

心
か
よ
う
美
し
い
緑
の
ま
ち

な
が
の

基本方針 1 緑豊かなまちを創ります (緑の創出)

- 1-1 公園緑地の整備
- 1-2 公園緑地の管理運営
- 1-3 民有地・交友施設の緑化
- 1-4 緑のネットワークの整備
- 1-5 緑化重点地域の指定

基本方針 2 受け継がれてきた緑を守ります (緑の保全)

- 2-1 歴史や文化的環境の保全と活用
- 2-2 貴重な自然の保全と活用
- 2-3 森林の保全と活用
- 2-4 農地の保全と活用
- 2-5 水辺・河川の保全と活用

基本方針 3 緑と親しむ文化や人を育みます (緑育の推進)

- 3-1 緑化意識の啓発と緑の普及
- 3-2 緑の人材育成と支援
- 3-3 緑を支えるしくみづくり

次期計画の策定のポイント

平成31年4月に策定後
概ね10年が経過

社会情勢の変化

- ・ 少子高齢化
- ・ 労働力の不足
- ・ 地球温暖化の加速
- ・ 気象災害の増加
- ・ デジタル技術の進化

など

国・県などの動向と個別計画との整合

国

- ・ 都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針 策定（R6）
- ・ グリーンインフラ推進戦略2023（R4）

県

- ・ 信州まちなかグリーンインフラ推進計画 改正（R8）【次ページ参照】

市

- ・ 長野市総合計画 改定（R9）
- ・ 都市計画マスタープラン 改定（R9）
- ・ 長野市環境基本計画 改定（R9）

社会情勢の変化等に対応するため、令和10年4月改定を目指す

山岳や田園、里山等みどりの美しさや豊かさを実感できる一方、まちなかでは都市化の進展によりみどりが減少しています。また、昨今は「持続可能な社会の構築」や「都市防災におけるみどりの重要性」、「緑化意識の継承」等の観点から、都市におけるみどりの重要性が高まっています。

都市施設や土地利用にみどりの多様な機能の活用を図る“まちなかグリーンインフラ”を推進するため、『信州まちなかグリーンインフラ推進計画』を策定しました。

～まちなかみどり宣言～

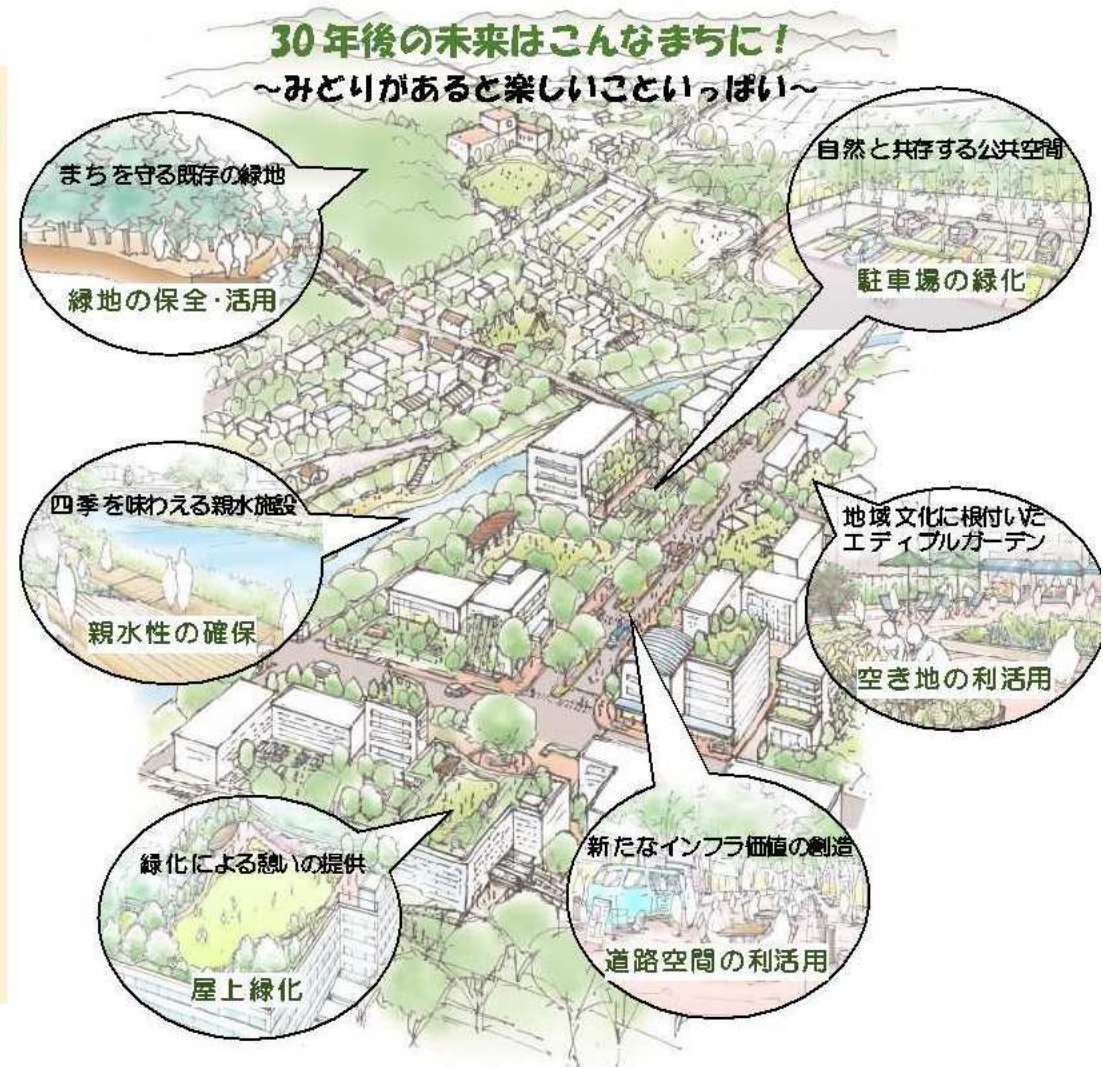
2050年『まち』が『みどり』であふれる

公共インフラが「みどり」で変わる

- ・ 道路は、ウォークブル（歩きたくなる道）に！
- ・ 公園や広場は、まちと人をつなぐ場に！
- ・ 河川や水路は、うるおいを感じ、水に親しめる場に！

都市空間が「みどり」で色づく

- ・ 駐車場は、みどりであふれる！
- ・ 空き地が、みどりに生まれ変わる！
- ・ 建物の敷地内にみどりを育み、楽しむ！
- ・ 緑地は、まちの資産として守られ、活かされる！



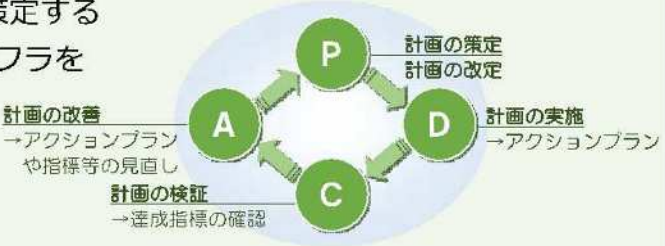
信州まちなかグリーンインフラ推進計画の目的と事業の経過

計画の目的と目標

グリーンインフラをまちづくりの有用な手段として捉え、緑地等の適切な保全を図りながら、都市の基盤となる道路や河川、公園等に積極的に取り入れるなど、「まち全体にグリーンインフラを広げていくこと」を目的として、2030 年までの目標を定め、PDCA サイクルで管理・運用を図ります。

◆ 目標1 グリーンインフラの浸透

県が策定する都市計画区域マスタープラン、市町村が策定する市町村マスタープラン及び緑の基本計画にグリーンインフラを位置付けます。



◆ 目標2 グリーンインフラの普及

まちなかにおけるグリーンインフラの導入事例を10 件（1 圏域につき1 件）以上つくることを目指します。

計画実行に向けてのアクションプラン

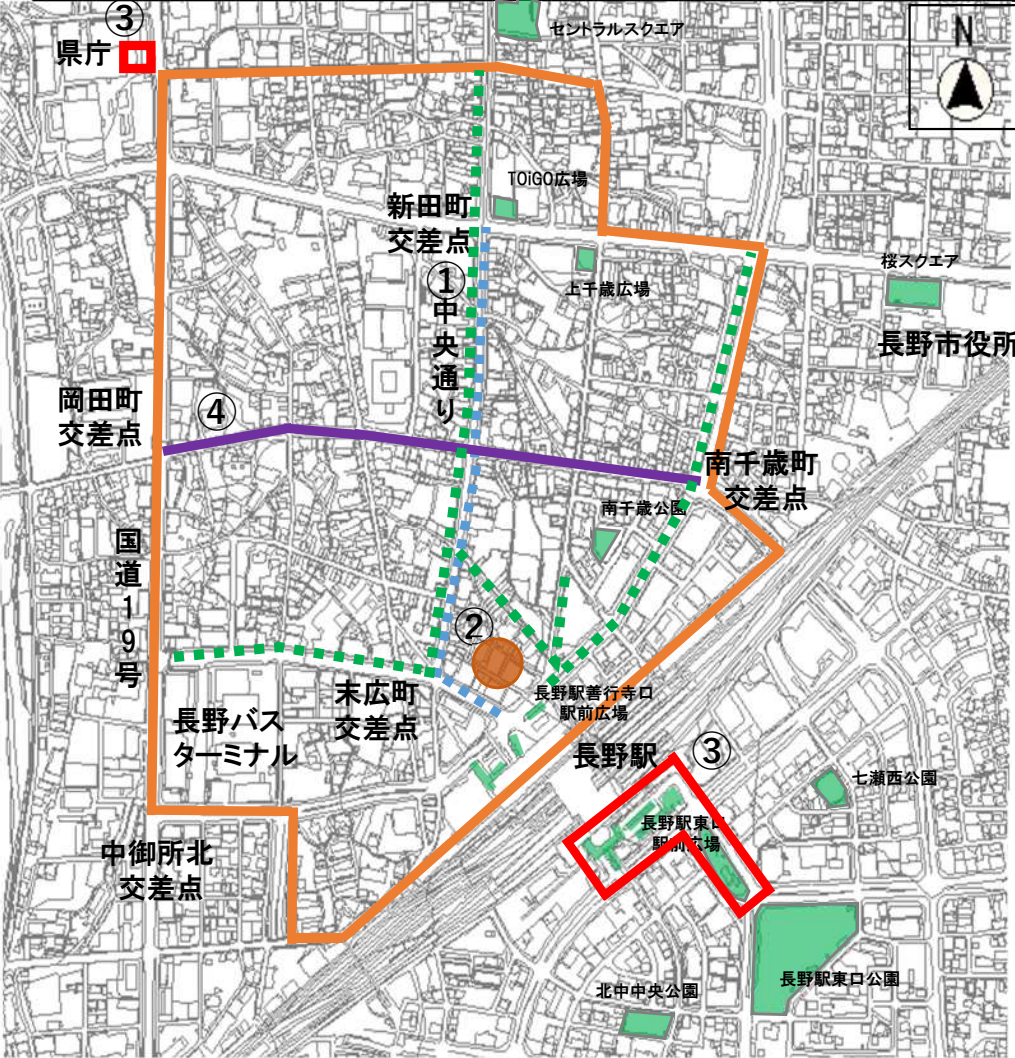
		2021 (令和 3 年度)	2022 (令和 4 年度)	2023 (令和 5 年度)	2024 (令和 6 年度)	2025 (令和 7 年度)	
グリーンインフラの導入環境の整備							
公民の共同のまちづくり	実施項目① 市町村と連携した協定や基準強化による緑地の創出		・ まちなかの魅力創出が期待できる路線（区間）の選定 エリアビジョンに位置付け ・ 選定路線への街路樹整備等 まちなかの緑地整備・保全事業等による補助実施				
	実施項目② 基準強化に併せた財政支援と優遇措置の検討		・ 国の交付金（補助金）の活用促進 街環、都市再生、都市構造などの事業の活用等 ・ 県による既存事業の見直しや新たな事業制度の検討 → ・ 新事業の実施 R5より緑地整備事業拡充、保全事業新設				
	実施項目⑤ 新たな維持管理体制の構築		・ 地域住民や地元事業者による選定路線の包括管理の検討 → ・ 新たな維持管理体制の構築 街路樹愛護会設立				
	グリーンインフラ導入体制の強化						
	連携強化 実施項目④ 市町村や民間事業者、関係団体と連携した取組		・ 市町村と連携した緑化施策 エリアビジョンの策定 ・ 信州緑花ネットワークや長野県造園建設業協会等と連携 ・ 民間事業者による社会実験（長野駅前） 民間・共同で社会実験を実施				

将来のビジョン

長野駅前から善光寺などの主要観光地に向けての回遊性を意識した街路樹保全を実施するとともに、市民緑地認定制度の活用などハードとソフトの両面からグリーンインフラを推進し官民が連携して事業に取り組むことにより、県都長野市の中心市街地の魅力向上及び活性化を図る。

主要プロジェクト

プロジェクト名	期待効果
中央通りPJ	賑わい・快適性・環境・防災
市街地再開発PJ	賑わい・快適性・環境・防災
商店街や沿道などの緑化PJ	賑わい・快適性・環境・防災
雨水流出抑制PJ	賑わい・快適性・環境・防災



プロジェクト名	個別事業	番号	凡例	事業内容
中央通りPJ	歩行者優先道路化事業による道路再整備の実施	①	■■■■	再整備に併せて緑化推進、緑陰創出を行う
市街地再開発PJ	補助金交付要綱によるGIの推進	②	●	補助金交付要綱にGI推進に寄与する条件を追加
	条例による事業所等の緑化義務化	市内		一定規模以上の工場等への敷地内緑化を義務化
民間活力を活用した緑地整備PJ	市民緑地認定制度の活用による緑地の整備	市内		民間主体により公園と同等の空間創出を推進
商店街や沿道などの緑化PJ	緑化活動の支援	市内		民間団体に報奨金を交付し愛護活動を支援
	地域緑化事業の実施	市内		緑花木等の配布により公共的敷地の緑化を推進
	GI推進に係る実証実験	③	□	GIの試験的導入やムクドリ対策等の実証実験により、効果の検証等を実施
雨水流出抑制PJ	助成制度の活用による雨水流出の抑制	市内		雨水貯留・浸透施設の設置者に助成金を交付
県道緑化推進PJ	モデル路線における実証実験	④	—	県道長野菅平線の一部区間で緑陰創出につながる剪定を実施
市道緑化推進PJ	まちなかの緑地保全補助事業	⑤	■■■■	沿道協力団体と協力しての緑地帯の充実